

使用済み商用車架装物 解体マニュアル
粉粒体運搬車
(バルク Z[®])

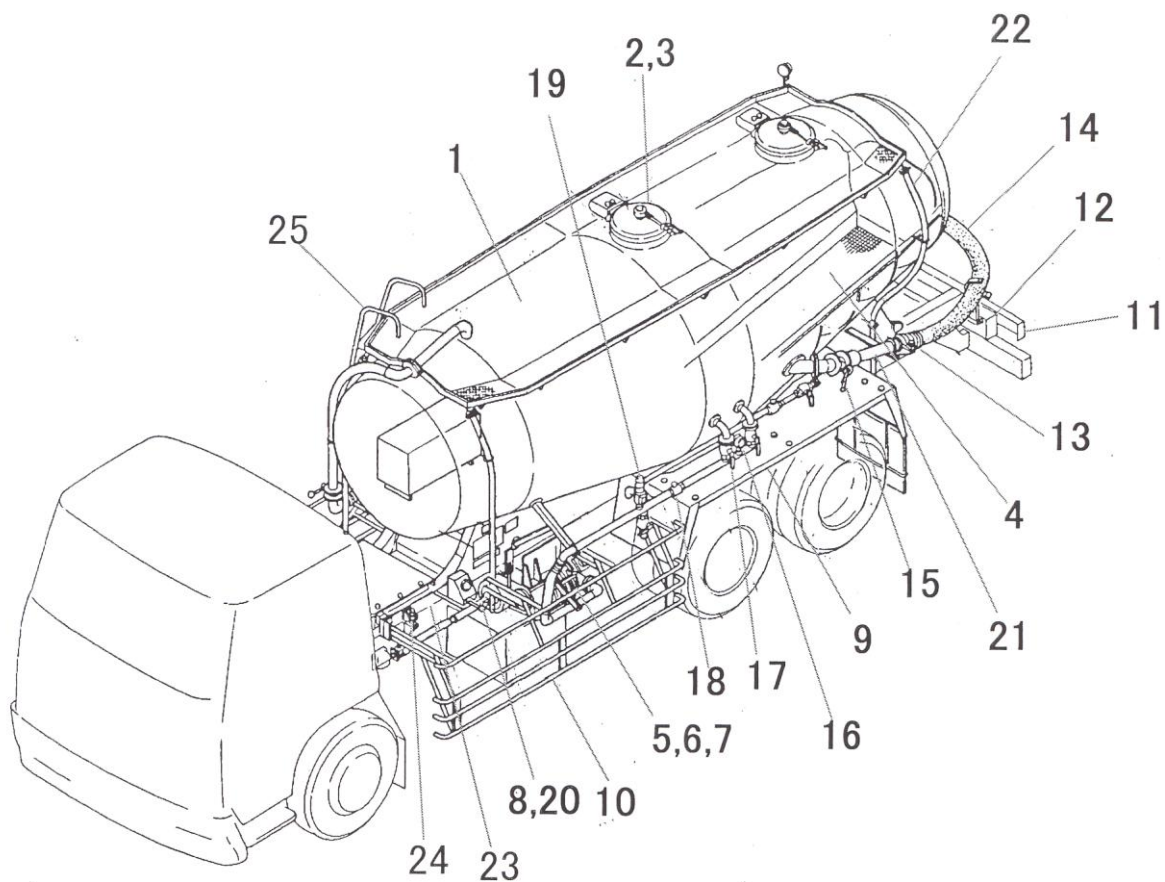
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル（新明和工業株式会社 共通編）」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の構造概要(エアースライド式)
2. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の構造概要(エアージャitterーション式)
3. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の解体マニュアル
4. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の構造概要(ダンプ式)
5. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の解体マニュアル(ダンプ式)
6. エアー圧送式粉粒体運搬セミトレーラ架装物の構造概要
7. エアー圧送式粉粒体運搬セミトレーラ架装物の解体マニュアル
8. お問い合わせ窓口

新明和工業株式会社

1. エア一圧送式粉粒体運搬車架装物の構造概要（エアースライド式）

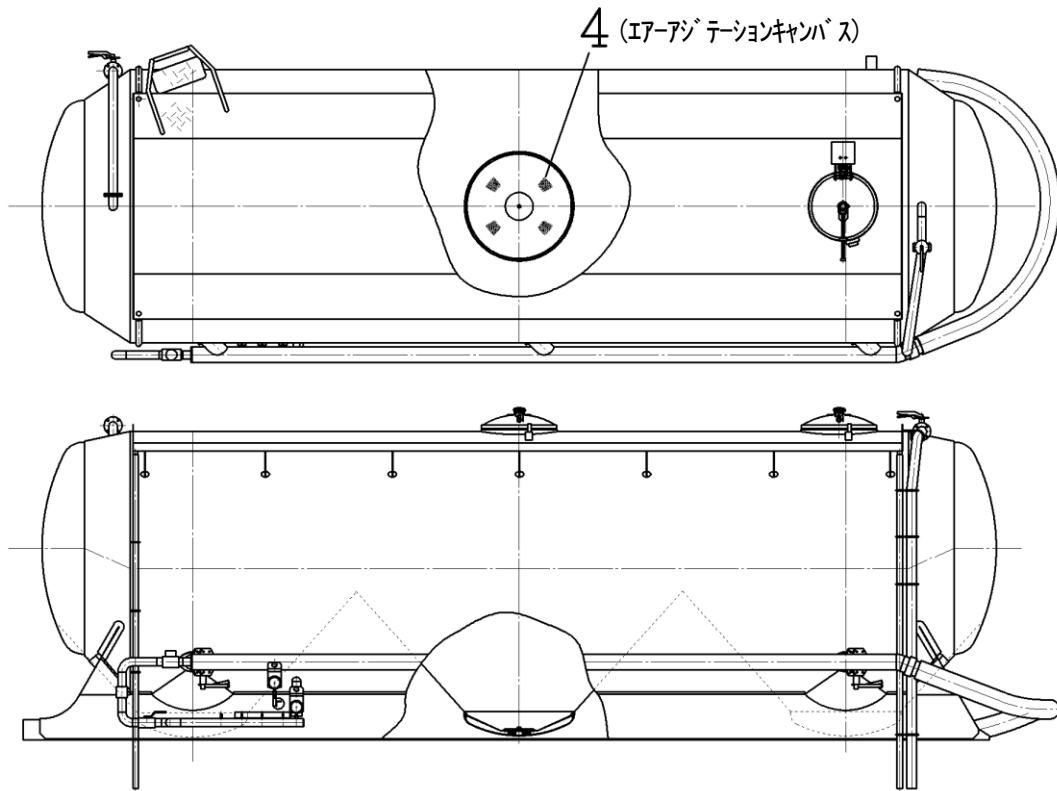


(注記) 上図は一般的なエア一圧送式粉粒体運搬車を例に表示しており、車格及び仕様により形状等が異なる場合があります。

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	タンクユニット	14	排出ホース
2	マンホール	15	バタフライバルブ
3	キャンバスシュート	16	圧力計
4	エアースライドキャンバス	17	ボールバルブ
5	コンプレッサ	18	チェックバルブ
6	エアークリーナ	19	セフティバルブ
7	ドライブシャフト	20	回転計
8	アクセルコントロール	21	エア一配管類
9	リヤフェンダ	22	水抜きホース
10	サイドバンパ	23	タンク敷きゴム
11	リヤバンパ	24	マウンティングブラケット
12	ランプ類	25	外装部品
13	スペアタイヤキャリア		

2. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の構造概要（エアーアジテーション式）



構造概要図

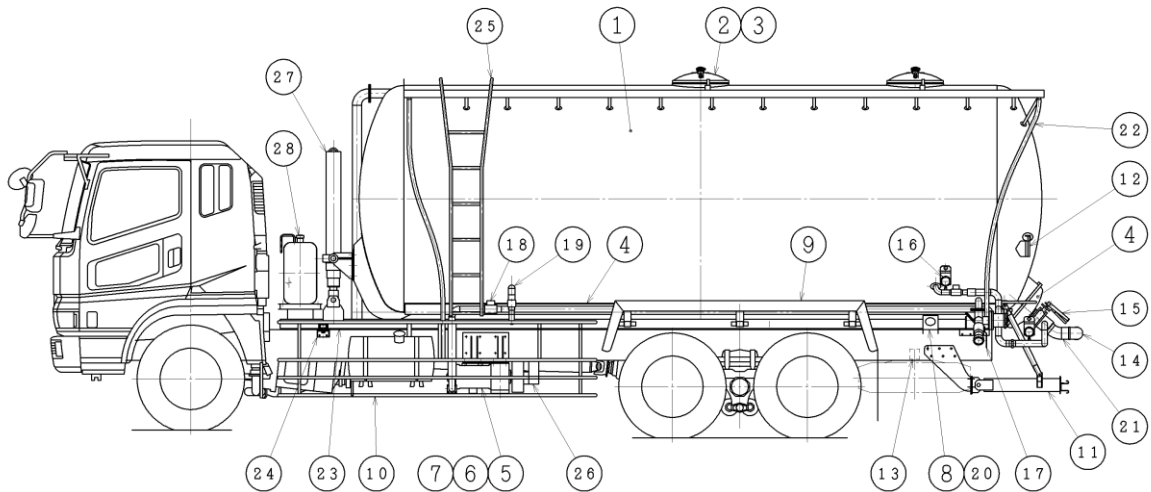
3. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の解体マニュアル （エアーライド式・エアーアジテーション式）

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	タンク内圧力をぬくために、車両前方あるいは後方のエアー抜き配管バルブを開にします。	タンク内に残圧があるままマンホールを開くと、マンホール蓋が飛ぶ恐れがあります。
	事前処理Ⅱ	タンク内に付着及び残っている粉粒体を専門業者にて処理して下さい。	タンク内に入る際、酸素濃度計にてタンク内酸素濃度が正常であることを確認して下さい。酸欠の恐れがあります。
	事前処理Ⅲ	主要な外装部品を取り外します。	
車両全体	架装物(タンク)	マウンティングブラケット等のホルトを取り外し、シャシと架装物を切り離します。	シャシ側と繋がっているエアーホースを切り離して下さい。架装物側に取り付けられているコンプレッサブラケットを取り外して下さい。
車両全体	タンク側	タンク側付属品を取り外します。	

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
1	タンク本体	溶断等により切断します。	引火、切断フェーム、粉塵等に注意して下さい。
2	マンホール	金属類とゴム類に分別します。	
3	キャンバスシート	布類とゴム類に分別します。	
4	エアースライドキャンバス／ エアージンテーションキャンバス	取り外します。	布類となります。
5	コンプレッサ	潤滑油を抜き、金属類、ゴム類と樹脂類に分別します。	オイルパン等を用意して下さい。 オイル量は約1.5Lです。
6	エアークリーナ	金属類、ゴム類と布類に分別します。	
7	ドライブシャフト	取り外します。	
8	アクセルコントロール	金属類、ゴム類と配線に分別します。	
9	リヤフェンダ	金属類とゴム類に分別します。	
10	サイドバンパ	金属類と樹脂類に分別します。	
11	リヤバンパ	取り外します。	
12	ランプ類	金属類、樹脂類とランプに分別します。	
13	スヘアタイヤキャリア	取り外します。	
14	排出ホース	金属類とゴム類に分別します。	ホースに埋め込まれている金属類は 分別不可です。
15	パタフライバルブ	金属類とゴム類に分別します。	金属類材質は鉄、ステンレスになります。
16	圧力計	銘盤部内のオイルを抜き、金属類とゴム、樹脂類に分別します。	金属類材質は鉄、ステンレス、アルミになります。
17	ボールバルブ	金属類、ゴム類と樹脂類に分別します。	材質は黄銅、鉄になります。
18	チェックバルブ	取り外します。	材質は青銅、鉄になります。
19	セフティバルブ	金属類とゴム類に分別します。	材質は青銅、鉄、ステンレスになります。
20	回転計	金属類、ゴム類、樹脂類と配線に分別します。	
21	エア配管類	金属類とゴム類に分別します。	
22	水抜きホース	取り外します。	樹脂類となります。
23	タンク敷きゴム	取り外します。	ゴム類となります。
24	マウンティングブラケット	金属類とゴム類に分別します。	
25	外装部品	取り外します。	

(注) No5 コンプレッサの解体には専門知識、工具が必要ですので専門業者に委託して適切に処理願います。

4. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の構造概要（ダンプ式）



品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	タンクユニット	15	バタフライバルブ
2	マンホール	16	圧力計
3	キャンバスシュート	17	ボールバルブ
4	エアーライドキャンバス	18	チェックバルブ
5	コンプレッサ	19	セフティバルブ
6	エアークリーナ	20	回転計
7	ドライブシャフト	21	エアー配管類
8	アクセルコントロール	22	水抜きホース
9	リヤフェンダ	23	タンク敷きゴム
10	サイドバンパ	24	マウンティングブラケット
11	リヤバンパ	25	外装部品
12	ランプ類	26	油圧ポンプ
13	スペアタイヤキャリア	27	油圧ユニット
14	排出ホース	28	作動油タンク

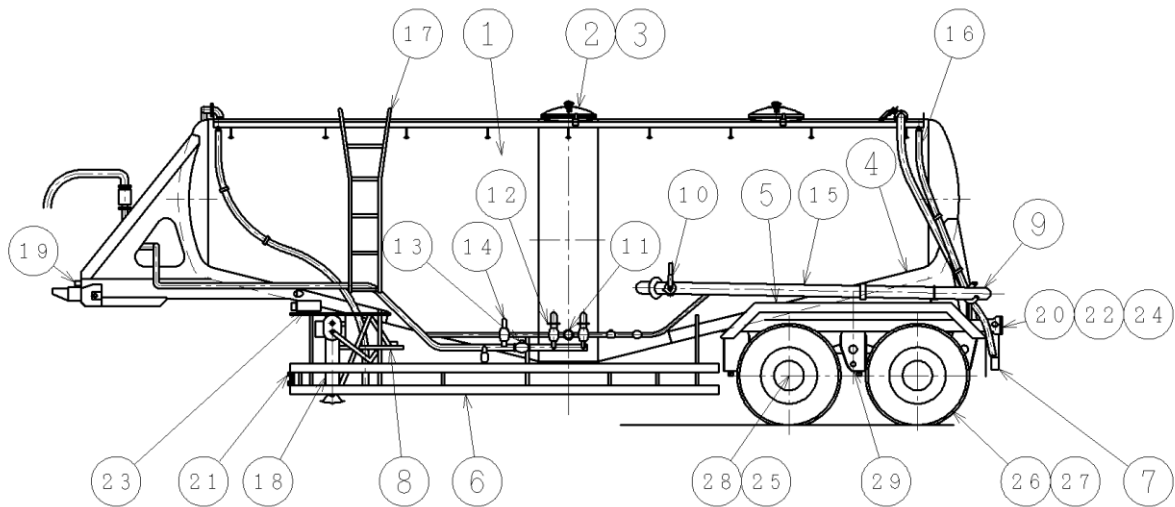
5. エアー圧送式粉粒体運搬車架装物の解体マニュアル（ダンプ式）

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	タンク内圧力をめくために、車両前方あるいは後方のエア抜き配管バルブを開にする。	タンク内に残圧があるままマンホールを開くと、マンホール蓋が飛ぶ恐れがあります。
	事前処理Ⅱ	タンク内に付着及び残っている粉粒体を専門業者にて処理する。	タンク内に入る際、酸素濃度計にてタンク内酸素濃度に異常がないことを確認して下さい。酸欠の恐れがあります。
	事前処理Ⅲ	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	架装物(タンク)	マウンティングブラケット等のボルトを取り外し、シャシと架装物を切り離す。	シャシ側と繋がっているエアホースを切り離して下さい。架装物側に取付られているコンプレッサブラケットを取り外して下さい。
車両全体	油圧シリンダ	タンク側ブラケットの取付ボルトを外しタンクから切り離します。	クレーン等で吊り上げて下さい。その際、シリンダチューブが伸びない様にワイヤー等で固定して下さい。
車両全体	タンク側	タンク側付属品を取り外す。	
1	タンク本体	溶断等により切断等する。	引火、切断フェーム、粉塵等に注意して下さい。
2	マンホール	金属類とゴム類に分別します。	
3	キャンバスシート	布類とゴム類に分別します。	
4	エアースライドキャンバス	取り外します。	布類となります。
5	コンプレッサ	潤滑油を抜き、金属類、ゴム類と樹脂類に分別します。	オイルパン等を用意して下さい。オイル量は約3.5Lです。
6	エアクリーナ	金属類、ゴム類と布類に分別します。	
7	ドライブシャフト	取り外します。	
8	アクセルコントロール	金属類、ゴム類と配線に分別します。	
9	リヤフェンダ	金属類とゴム類に分別します。	
10	サイドバンパ	金属類と樹脂類に分別します。	
11	リヤバンパ	取り外します。	
12	ランプ類	金属類、樹脂類とランプに分別します。	
13	スペアタイヤキャリア	取り外します。	
14	排出ホース	金属類とゴム類に分別します。	ホースに埋め込まれている金属類は分別不可です。
15	パタフライバルブ	金属類とゴム類に分別します。	金属類材質は鉄、ステンスになります。
16	圧力計	銘盤部内のオイルを抜き、金属類とゴム、樹脂類に分別します。	金属類材質は鉄、ステンス、アルミになります。
17	ボールバルブ	金属類、ゴム類と樹脂類に分別します。	材質は黄銅、鉄になります。
18	チェックバルブ	取り外します。	材質は青銅、鉄になります。
19	セフティバルブ	金属類とゴム類に分別します。	材質は青銅、鉄、ステンスになります。

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
20	回転計	金属類、ゴム類、樹脂類と配線に分別します。	
21	エア配管類	金属類とゴム類に分別します。	
22	水抜きホース	取り外します。	樹脂類となります。
23	タンク敷きゴム	取り外します。	ゴム類となります。
24	マウンティングブラケット	金属類とゴム類に分別します。	
25	外装部品	取り外します。	
26	油圧ポンプ	ホースを取り外し、油を抜いて下さい。	オイルパン等を用意して下さい。
27	油圧ユニット	取付ボルトを外し、ホースを取り外し、油を抜いて下さい。	オイルパン等を用意して下さい。
28	作動油タンク	ドレンよりオイルを抜き、金属類とゴム類と布類に分別します。	オイルパン等を用意して下さい。 オイル量は約 100Lです。

(注) No5 コンプレッサ、No26・27 油圧機器の解体には専門知識、工具が必要ですので専門業者に委託して適切に処理願います。

6. エア圧送式粉粒体運搬セミトレーラ架装物の構造概要



品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	タンクユニット	16	水抜きホース
2	マンホール	17	外装部品
3	キャンバスシュート	18	ジャッキ
4	エアースライドキャンバス	19	多芯ケーブル
5	リヤフェンダ	20	ハーネスASSY
6	サイドバンパ	21	車幅灯
7	リヤバンパ	22	反射器
8	スペアタイヤキャリア	23	サイドフラッシャー
9	排出ホース	24	テールランプ
10	バタフライバルブ	25	ブレーキ用エア配管、金具類
11	圧力計	26	タイヤ
12	ボールバルブ	27	ホイール
13	チェックバルブ	28	車軸
14	セフティバルブ	29	サスペンション
15	エア配管類		

7. エアー圧送式粉粒体運搬セミトレーラ架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	タンク内圧力をぬくために、車両前方あるいは後方のエア抜き配管バルブを開にする。	タンク内に残圧があるままマンホールを開くと、マンホール蓋が飛ぶ恐れがあります。
	事前処理Ⅱ	タンク内に付着及び残っている粉粒体を専門業者にて処理する。	タンク内に入る際、酸素濃度計にてタンク内酸素濃度に異常がないことを確認して下さい。酸欠の恐れがあります。
	事前処理Ⅲ	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	タンク側	タンク側付属品を取り外す。	
1	タンク本体	溶断等により切断等する。	引火、切断フェーム、粉塵等に注意する。
2	マンホール	金属類とゴム類に分別します。	
3	キャンバスシート	布類とゴム類に分別します。	
4	エアースライドキャンバス	取り外します。	布類となります。
5	リヤフェンダ	金属類とゴム類に分別します。	
6	サイドバンパ	金属類と樹脂類に分別します。	
7	リヤバンパ	取り外します。	
8	スペアタイヤキャリア	取り外します。	
9	排出ホース	金属類とゴム類に分別します。	ホースに埋め込まれている金属類は分別不可です。
10	バタフライバルブ	金属類とゴム類に分別します。	金属類材質は鉄、ステンスになります。
11	圧力計	銘盤部内のオイルを抜き、金属類とゴム、樹脂類に分別します。	金属類材質は鉄、ステンス、アルミになります。
12	ボールバルブ	金属類、ゴム類と樹脂類に分別します。	材質は黄銅、鉄になります。
13	チェックバルブ	取り外します。	材質は青銅、鉄になります。
14	セフティバルブ	金属類とゴム類に分別します。	材質は青銅、鉄、ステンスになります。
15	エア配管類	金属類とゴム類に分別します。	
16	水抜きホース	取り外します。	樹脂類となります。
17	外装部品	取り外します。	
18	ジャッキ	取り外します。	
19	多芯ケーブル	取り外します。	材質は銅、ポリ塩化ビニルになります。
20	ハーネスASSY	取り外します。	材質は銅、ポリ塩化ビニルになります。
21	車幅灯	金属類、樹脂類とランプに分別します。	
22	反射器	金属類と樹脂類に分別します。	
23	サイドフラッシャー	金属類、樹脂類とランプに分別します。	
24	テールランプ	金属類、樹脂類とランプに分別します。	

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
25	ブレーキ用エア配管、 金具類	金属類、ゴム類に分別します。	材質はアルミ、銅、鉄、ゴムになります。
26	タイヤ	取り外します。	タイヤに埋め込まれている金属類は分別不可です。
27	ホイール	取り外します。	
28	車軸	取り外します。	
29	サスペンション	金属類、ゴム類に分別します。	材質は鉄、ゴムになります。

8. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等がございましたら下記までお願い致します。

新明和工業株式会社 特装車事業部 開発部

TEL : 0283-23-2226

以上